

# 市民に寄り添う



## のまち

復興計画を策定するにあたり、その道筋となる復興ビジョンを決定しました。

基本理念は「市民に寄り添う絆のまち」。さらに3つの基本方針のもと、災害に強い社会基盤や防災拠点の整備、総社流施策のさらなる推進などで復興を加速させていきます。

問い合わせ 復興推進室 (☎⑨ 8570)

## 人口・経済が 上昇するまちづくり

# 2

速やかな復旧・復興にあたり、人口・経済が右肩上がりに上昇するまちづくりを進めていきます。

### ■人口の上昇

- ・グランドデザイン改革の推進による新たなまちづくり
- ・「住宅新築助成金」など、被災者への支援拡大
- ・雪舟くんの充実などによる交通利便性の向上 など

### ■経済の上昇

- ・地域特性を生かした企業誘致・立地
- ・雇用機会の創出と人材確保
- ・日本遺産を生かした観光客の集客 など

### ■農業振興

- ・被災地ブランド米の創出と復興PR活動の展開
- ・被災した農地の土壌改良による生産性の向上 など

## 復興ビジョン 3つの基本方針



## 強くてしなやかな まちづくり

# 1

洪水だけでなく、地震や土砂災害などあらゆる災害に対応した強くてしなやかなまちづくりを進めます。

### ■災害に強い社会基盤の整備

- ・高梁川や新本川などの河川やため池における土砂のしゅんせつ、樹木の伐採、堤防の強化
- ・排水ポンプの設置など内水氾濫を防ぐための対策強化 など

### ■災害をしなやかに受け止める体制の整備

- ①防災拠点の整備
  - ・防災備蓄品の充実と配置場所の整備
  - ・緊急車両や救命道具の整備 など
- ②避難所の見直し
  - ・避難所と避難所周辺道路の安全性の確保
  - ・障がい者(児)などの要配慮者などに寄り添う避難所設置と運営
  - ・ペット避難所の整備 など
- ③災害に強い情報収集・伝達力の向上
  - ・ダムコントロールと放流情報の伝達方法の明確化
  - ・外国人や高齢者などにも確実に伝わる情報伝達手段の構築
  - ・市ホームページやSNSなどを活用した雨量、水位、避難者数などの情報発信 など
- ④防災意識の向上
  - ・ハザードマップの抜本的な見直しと周知徹底
  - ・災害を風化させないための取り組み
  - ・自主防災組織の設立促進と組織強化支援 など

## 下原地区・昭和地区の 復興と新たなまちづくり

# 3

下原地区と昭和地区の速やかな復旧・復興を目指して、基盤整備や防災対策に取り組みます。

### ■創造的なまちの復興

- ・地域集会所改修などによる防災拠点の整備
- ・緊急車両が通行可能な道路の整備
- ・美袋駅前への商業施設誘致などによる地域活性化 など

### ■被災者に寄り添う支援

- ・「復興住宅」の整備など住まいの確保への継続的な支援
- ・見守り活動の長期的、継続的な実施 など

※掲載しているものは復興ビジョンの概要です。詳細は、市ホームページからご覧いただけます

